

# 令和5年度 事業報告

## はじめに

横浜港振興協会は、「ミナト町ヨコハマの振興・発展に向けた諸事業を推進する」という役割を担うために、令和5年度も役職員一丸となって横浜港の港湾振興策を次のとおり実施しました。

市民を対象とした「横浜港見学会」「横浜港出前講座」等の各種事業を推進し、市民の方々に横浜港を理解して頂き、港がより身近なものとして愛着を感じていただけるよう取り組みました。客船関連については、コロナ禍が一段落し急回復した客船の受入れを行うとともに、配船調整業務や、岸壁の運營業務を行いました。

横浜港の施設の管理運營業務としては、大さん橋国際客船ターミナル、八景島マリーナ・駐車場の安全・安心な施設運営に取り組みました。

また、横浜港振興協会は令和5年に創立70周年を迎えたことから、記念式典を開催し、70年間の横浜港の貴重な写真を収録した記念写真集を作成しました。

今後も、当協会の役割を果たすため、より効率的で効果的な業務執行に努めてまいります。

## 1 会勢（令和6年3月31日現在）

(1) 会員総数 503社 812口

令和5年度増減数

9社減 12口減（入会3社3口、退会12社15口）

(2) 役員

会長	1人
副会長	4人
専務理事	1人
常務理事	1人
理事	46人
監事	2人（以上計55人）

(3) 職員

事務局長	1人
本部	10人
大さん橋客船ターミナル事務所	11人
八景島事務所	3人（以上計25人）

## 2 会議等の開催

### (1) 理事会・総会

- ア 第 204 回理事会 令和 5 年 5 月 24 日  
第 72 回通常総会提出議案、新規入会会員について承認されました。
- イ 第 72 回通常総会 令和 5 年 5 月 24 日  
令和 4 年度事業報告・決算、令和 5 年度事業計画・予算、役員を選任について承認されました。
- ウ 第 205 回理事会 令和 5 年 5 月 24 日  
会長、副会長、専務理事、常務理事の選任について承認されました。
- エ 第 206 回理事会 令和 5 年 12 月 26 日（書面表決）  
「横浜市山下ふ頭再開発検討委員会委員」への推薦、当協会内の「山下ふ頭再開発検討部会」の設置について承認されました。
- オ 第 207 回理事会 令和 6 年 3 月 26 日  
令和 6 年度事業計画、予算、役員報酬規程の改訂について承認されました。

### (2) 横浜港振興協会創立 70 周年記念式典

当協会の創立 70 周年を記念して、会長記念講演、昼食会、チャリティーコンサートを開催し、法人会員、個人会員、役員、総代、来賓、招待者等が出席しました。創立後 70 年間の協会の歩みを綴った「記念誌」を会員等に配布しました。チャリティーコンサートで集められた募金等 50 万円については、社会福祉法人日本水上学園（児童養護施設）に寄付しました。

また、創立 70 周年記念写真集「MEMORIES OF THE PORT OF YOKOHAMA」を発行し、書店などで販売しています。

開催日 令和 5 年 11 月 17 日

場所 ロイヤルホールヨコハマ

出席者 232 人

チャリティーコンサート出演者 「キャロル山崎 with C&H SKY jazz ORCHESTRA」

### (3) 令和 5 年度新入社員等研修会

会員店社の新入社員等を対象に、横浜港に関する 2 つの講義「横浜港の概要（講師：横浜市港湾局職員）」、「横浜開港と交通の発達（講師：横浜開港資料館職員）」及び貸切バスでの大黒ふ頭等の見学、船による海上からの港内見学を行いました。

開催日 令和 5 年 6 月 7 日

場所 波止場会館等

出席者 65 人

### (4) その他（横浜経済 7 団体共催事業）

令和 5 年叙勲・大臣表彰・横浜文化賞 受賞祝賀会

開催日 令和 5 年 11 月 27 日

### 3 港湾関係道路網の整備促進活動の推進

横浜港と背後圏とのアクセスを強化し、物流円滑化を図るため、横浜市幹線道路網建設促進協議会の構成団体の一員として、横浜環状道路の整備促進を働きかけました。

### 4 船舶・貨物誘致活動の推進

#### (1) 横浜港客船誘致事業

客船誘致に必要な情報を国内のほか国外からも収集し、受入環境の強化に努めました。横浜港を取り巻く様々な課題が関係者間での共通認識となるよう、定期的に横浜港客船連絡会議を行い、その事務局を当協会が担いました。

#### (2) 客船受入事業

外国船は「ダイヤモンド・プリンセス」「ウエステルダム」「ノーティカ」「シルバー・ミューズ」「セブンシーズ エクスプローラー」「ボレアリス」「パシフィック・ワールド」「ヘリテージ・アドベンチャラー」「クイーン・エリザベス」「MSC ベリッシマ」「バイキング・オリオン」「ハンセアティック・ネイチャー」「スペクトラム・オブ・ザ・シーズ」「コーラル・アドベンチャラー」「スター・ブリーズ」「シルバー・ウィスパー」「セレブリティ・ミレニアム」が入港し、日本船は「飛鳥Ⅱ」「にっぽん丸」の2隻の寄港がありました。

令和5年1月～12月の客船寄港実績は計171回（日本客船70回、外国客船101回）で、うち大さん橋94回（日本客船50回、外国客船44回）、新港ふ頭38回（日本客船20回、外国客船18回）、大黒ふ頭39回（日本客船0回、外国客船39回）でした。

#### (3) 横浜港初入港船歓迎サービス業務

横浜港の振興宣伝策のひとつとして、横浜港に初入港する船舶に横浜港シンボルマーク入り楯などの贈呈や初入港歓迎セレモニーを実施しました。

楯の贈呈数49件、押絵の贈呈数17件

初入港歓迎セレモニーの実施

コンテナ船「きそ」 令和5年6月6日 南本牧ふ頭

コンテナ船「清浦丸」 令和5年11月2日 本牧ふ頭

### 5 地域連携事業

前年に続き、地域連携事業を推進するため、協会内の専門担当が活動を行いました。

#### (1) 神奈川大学との包括連携協定に基づく取組

持続可能な横浜港の構築に向け、お互いが抱える諸課題の解決に共同で取り組み、ミナト町ヨコハマの更なる発展に寄与するとともに、「港湾の実業」を通して次世代人材を育成するため、令和4年1月に、神奈川大学と締結した包括連携協定に基づき、具体的な取組みを行いました。

八景島アクティブラーニング研修・国際日本学部島川ゼミ生（令和5年4月1日）

八景島アクティブラーニング研修・社会連携センター職員（令和5年9月8日）

藤木会長と大学生の座談会・国際日本学部島川ゼミ生（令和5年9月13日）  
藤木会長と大学生の座談会・経済学部三島ゼミ生（令和5年7月13日）  
自動車専用船の見学会・社会連携部（事務局）（令和5年4月21日）  
新田開発の歴史を学ぶ運河クルーズ・国際日本学部山口准教授ほか  
（令和5年12月8日）  
出前講座「港で働く人々の仕事」・国際日本学部オムニバス授業「横浜と観光」  
（令和5年12月14日）

(2) 「BAYWALK YOKOHAMA ウォーキング&ジョギングマップ」の配布

臨海部の賑わい創出と回遊性の促進を目的として、「BAYWALK YOKOHAMA ウォーキング&ジョギングマップ」を市内観光案内所、周辺ホテルや商業施設に配布しました。

(3) ウエルネスウォーキングの実施

「BAYWALK YOKOHAMA」コースと八景島周辺を巡るウエルネスウォーキングイベントを、年間を通して3回実施しました。

「BAYWALK YOKOHAMA」ウエルネスウォーキング（5月25日、9月2日）

八景島ウエルネスウォーキング（12月4日）

※7月19日は熱中症警戒アラートを考慮し中止

(4) 「サロン・ド・ヨコハマ」の開催

横浜発着のクルーズ客の多くは、東京等で観光・宿泊を行うという課題があります。これを解決する試みとして、実際にクルーズの常連のお客様に横浜のホテルに足を運んでもらい、客室見学やレストランを利用していただき、横浜観光やクルーズの前泊・後泊など横浜のホテル利用に繋げる「サロン・ド・ヨコハマ」を8回開催しました。

カハラホテル横浜（6月29日）

ベイホテル東急（9月8日）

ハイアットリージェンシー横浜（10月3日、10月23日）

インターコンチネンタル横浜 PIER 8（10月18日、12月19日）

ウェスティンホテル横浜（11月14日）

横浜ロイヤルパークホテル（11月29日）

(5) 「横浜みなと周遊バス」の運行

訪日外国人船客への対応と、臨海部での回遊性の向上のため、小規模なラグジュアリー船を対象に、試験的な取組みとして、大さん橋を起点とした横浜を代表する3つのエリア（伊勢佐木町、元町、中華街）を巡る「横浜みなと周遊バス」を運行しました。

運行日時 令和5年10月9日（月・祝）11:00～18:00

運行台数 4台（15分間隔で運行）

対象船舶 シルバー・ミュージズ（総トン数 40,791 トン、船籍 バハマ）

運行コース 大さん橋国際客船ターミナル～伊勢佐木町～元町～中華街  
～大さん橋国際客船ターミナル

(6) クルーズ船の情報提供

近隣商店街や鉄道事業者に対して、クルーズ船の情報提供や連携活動を行いました。

(7) 横浜ベイブリッジ展望施設「スカイウォーク」の運営

「スカイウォーク」を利用者が安全かつ快適に使用できるよう適切な運営や施設を活用した広報活動を行いました。

## 6 市民と港を結ぶ事業の推進

(1) 共催事業

ア 横浜港見学会の実施

市民に広く横浜港を理解し、親しんでもらうため、港湾局、横浜港埠頭株式会社、横浜川崎国際港湾株式会社と連携し、横浜港内の周遊やコンテナターミナルなどの港湾施設の見学会を実施しました。

コース及び参加人数等

(ア) マリーナルージュ乗船コース 93回 3,734人

(イ) 港湾施設見学コース 22回 464人

(ウ) マリーナルージュ乗船・港湾施設見学コース 56回 1,133人

イ 横浜港出前講座の開催

横浜港や港に関係することなどをテーマに、講師を派遣し講座を開設することにより、市民の横浜港に対する理解や関心を深めるとともに、港との結びつきを強化するため、出前講座を行いました。

実施回数 8回

受講者数 170人

ウ 区民まつりへの出店

区民まつりのイベントに出店し、横浜港オリジナルグッズの販売や港に関するゲーム等を実施することにより、市民と港を結び付ける活動を行いました。

ふるさと港北ふれあい祭り（令和5年11月25日 横浜アリーナ）

エ 横浜港客船フォトコンテスト2023の開催

横浜港やクルーズ客船の魅力を多くの方に知っていただくため、港湾局と連携し横浜港に寄港する客船を被写体としたフォトコンテストを開催しました。

応募期間 令和6年1月4日～25日

テーマ 横浜港とクルーズ客船

応募総数 107作品

入賞数 9作品

(2) 実行委員会の事務局として実施した事業

ア 第40回横浜港カッターレース

主催 横浜港カッターレース実行委員会

開催日 令和5年5月21日

場所 山下公園前面海域及び公園内

参加チーム 115チーム（一般98チーム、女子13チーム、小学生4チーム）

イ みなと祭港湾関連行事の開催

主催 みなと祭行事港湾実行委員会

(ア) 優良海事関係者表彰式

横浜港において永年精励勤務した海事関係者の方々の功績をたたえ、感謝の意を込めて横浜市長より表彰しました。

開催日 令和5年7月24日

場所 横浜港大さん橋国際客船ターミナル 大さん橋ホール

被表彰者 港湾エンジニア38人、船員3人

(イ) 小学生のための港内見学会

水上バス「シーバス」の乗船と港湾施設の見学を行う「小学生のための港内見学会」を2日間開催しました。

①開催日 令和5年7月27日

行程 港内見学～出田町ふ頭見学（輸入青果、冷蔵倉庫の見学）

参加者 50人

②開催日 令和5年7月31日

行程 港内見学～日産自動車本牧専用ふ頭見学（自動車専用船への車両搬出作業等の見学）

参加者 44人

ウ 横浜港国際船員スポーツ大会

主催 横浜港国際船員スポーツ大会実行委員会

(ア) ソフトボール大会

開催日 令和5年7月22日

場所 大黒ふ頭中央緑地運動施設第一・第二グラウンド

参加者 港湾関連企業及び横浜市 8社

(イ) 各種競技大会（ビリヤード、卓球）

開催日 令和5年10月10日～13日

場所 ユナイテッド・シーメンズ・サービス

参加者 7か国 107人（14隻）

## 7 横浜スパークリングトワイライト関連イベントの実施

港や海に対する認識を深め、併せて横浜港の観光の振興を図り、地域経済の活性化に資することを目的に、日中開催する既存イベントと連携した短時間の花火打上げ（横浜スパークリングナイト 2023）を実行委員会の構成団体の一員として実施しました。

開催日 令和5年7月から令和6年3月まで（9日間）

内容 新港ふ頭、大さん橋から5分間花火打上げ（1月のみ3分間打上げ）  
打上げ玉数 150 発

## 8 横浜港の広報宣伝活動の推進

### (1) 各種刊行物の発行

#### ア 広報誌「よこはま港」の発行

第153号（令和5年4月1日発行）	1,300部
第154号（令和5年7月1日発行）	1,300部
第155号（令和5年10月1日発行）	1,300部
第156号（令和6年1月1日発行）	1,500部

#### イ 市民向けカレンダー等の制作、販売

横浜港カレンダー2024	2,000部
横浜港客船カレンダー付ポスター2024	4,000部

### (2) ポートガイド事業

海外からの横浜港訪問客に対する通訳や港内案内、刊行物等の翻訳、イベント司会等のサービス提供を行いました。また、市民向けの横浜港見学会や県外中学生による横浜港見学「海の学習」のガイドも行いました。

出動人数 12人（英語8人、中国語2人、韓国語2人）

出動件数 137回

## 9 横浜港振興協会友の会（波止場クラブ）の運営

### (1) 友の会会員の募集

広く市民の方々に横浜港を知ってもらうため、友の会会員を引き続き募集しました。

会員総数 75人（令和6年3月31日現在）

令和5年度増減数 3人減（入会3人、退会6人）

### (2) 友の会会員向けイベントの実施

横浜港について理解を深めていただくため、会員限定の「“横浜みなと博物館” 見学と水陸両用バス“スカイダック”による横浜港見学会」を実施しました。

開催日 令和6年3月12日、14日

見学場所 横浜みなと博物館、みなとみらい21地区、馬車道、新港ふ頭、大さん橋ふ頭等

参加人数 3月12日 21人

3月14日 21人

## 10 横浜港オリジナル記念品等の制作、販売

協会オリジナルグッズの製作、刊行物の販売をしました。新商品として、横浜港オリジナルハローキティグッズの製作販売をし、販売数の多い3色ボールペン、ラバーマグネット等の追加制作を行いました。

## 11 協賛・後援・協力事業等

横浜港の振興・発展に寄与する行事について、協賛または後援等を行いました。

- (1) 第71回ザよこはまパレード（国際仮装行列）（国際仮装行列実行委員会）
- (2) 横浜国際映画祭（横浜国際映画祭実行委員会）
- (3) 2023 ワールドトライアスロン・パラトライアスロンシリーズ横浜大会  
（世界トライアスロンシリーズ横浜大会組織委員会）
- (4) ベルギーウィークエンド2023 横浜（ベルギーウィークエンド実行委員会）
- (5) 第40回横浜港カッターレース（横浜港カッターレース実行委員会）
- (6) ハマフェス Y164（横浜セントラルタウンフェスティバル実行委員会）
- (7) GREENROOM FESTIVAL'23（グリーンルームフェスティバル実行委員会）
- (8) 横浜開港164周年みなと祭港湾関連行事（みなと祭行事港湾実行委員会）
- (9) 「アロハヨコハマ2023」（アロハヨコハマ実行委員会）
- (10) 第40回よこはまファミリー写生大会（横浜市PTA連絡協議会）
- (11) ヨコハマ・フットボール映画祭2023（ヨコハマ・フットボール映画祭実行委員会）
- (12) 横浜スパークリングナイト2023（横浜スパークリングトワイライト実行委員会）
- (11) 令和5年「海の月間」行事（「海の月間」横浜地区実行委員会）
- (12) 令和5年度海洋都市横浜うみ協議会（海洋都市横浜うみ協議会）
- (13) 第36回横浜港ボート天国（横浜港ボート天国推進連絡協議会）
- (14) 2023年度横浜港国際船員スポーツ大会（横浜港国際船員スポーツ大会実行委員会）
- (15) 第14回みなとみらい大盆踊り（みなとみらい大盆踊り実行委員会）
- (16) 日本財団・海と日本プロジェクト「すごいね！海！船！造船所！」～この地球で一番大きな工業製品『船』を見に行こう!!～【水素で動く客船ハイドロびんごで巡る横浜港クルーズ】（一般社団法人日本中小型造船工業会）
- (17) Local Green Festival '23（ローカルグリーンフェスティバル実行委員会）
- (18) 東京湾大感謝祭2023（東京湾大感謝祭実行委員会）
- (19) ワールドフェスタ・ヨコハマ2023（ワールドフェスタ・ヨコハマ実行委員会）
- (20) 企画展「関東大震災100年 船と港からみた関東大震災」  
（公益財団法人帆船日本丸記念財団）
- (21) 「BAYWALK MARKET2023」（BAYWALK MARKET2023 実行委員会）
- (22) 「YOKOHAMA SUP SANTA CRUISE」（横浜 SUP 倶楽部）
- (23) 横浜国際 SUP マラソン2024（横浜 SUP 倶楽部）
- (24) 第34回子ども会書道展（横浜市子ども会連絡協議会）
- (25) ジャパンインターナショナルボートショー2024（一般社団法人日本マリン事業協会）
- (26) 「BAYWALK YOKOHAMA」プレミアムガストロノミーウォーキング  
（一般社団法人 ONSEN・ガストロノミーツーリズム推進機構）



## 12 横浜港の施設の管理運営等

### (1) 大さん橋国際客船ターミナル指定管理業務

指定管理者として大さん橋ターミナルの管理運営をしました。来場者は 3,102,513 人となりました。また、以下の実績のとおり、客船の受入れを始めとしたインナーハーバーの更なる活力と賑わいの創出を実現し、安心安全な施設づくりのために各訓練、講習、研修会なども実施しました。

#### ア 客船の入出港に関する主な管理運営業務

入港隻数（暦年） 94 回

#### イ ターミナルの来場者数

3,102,513 人

#### ウ ターミナルの駐車場利用台数

148,519 台

#### エ 大さん橋ホールの営業稼働日数

214 日間

#### オ 撮影の利用件数

静止画 2,327 件、動画 123 件

#### カ 主な訓練、講習、研修会

全体防災訓練（震災・津波避難、煙体験）

全体防災訓練（避難訓練コンサート）

館内消防設備点検（年 6 回）

救急法講習会（AED 取扱い講習）（年 2 回）

ハラスメント講習（年 2 回）

防犯関連講習（SOLAS 勉強会、護身術講習）

コンプライアンス研修

障害者差別解消法勉強会

屋内消火栓取扱い訓練

大規模イベント開催時における事故防止等講習会

接客マナー研修

衛生管理研修（感染症対策、ゴミ分別勉強会）

自衛消防隊 消防操法技術訓練会

サービス介助基礎研修（障がい者対応・接客についての講習）

WEB マーケティング講習会

個人情報取扱い研修

キ 主な自主事業

- 客船見送りイベント (21回)
- スマートフェスティバル花火観覧会場 (7月30日)
- 大さん橋クジラキャンプ (8月20日)
- 横浜みなと周遊バス (客船シルバー・ミュージズ対象) (10月9日)
- ライブペイント (10月8日)
- 横浜港フォトジェニックイルミネーション (11月1日～2月29日)
- インスタグラムキャンペーン (11月2日～12月10日)
- 大さん橋マルシェ (11月25日～11月26日)
- 客船講演会と夜景クルーズ (12月6日～12月7日)
- 横浜春節祭ランタンオブジェの設置 (2月1日～2月25日)
- 大さん橋ホール内覧会 (2月7日)
- 大さん橋 Instagram フォトスクエア (2月1日～2月15日)
- 横浜港大さん橋凧揚げチャレンジ2024 (3月2日)
- 「MEMORIES OF THE PORT OF YOKOHAMA」写真展 (3月5日～3月31日)
- 大さん橋桜まつり (3月8日～4月7日)

(2) 大さん橋岸壁の安全管理業務

大さん橋ふ頭は外航客船が入出港を行う際に SOLAS 条約 (海上人命安全条約) の対象となる岸壁であるため、埠頭保安管理者 (横浜市港湾局) が定める規定に基づき、24 時間 365 日、岸壁に出入りする車両と人の管理を実施しました。

(3) 配船業務及び客船等岸壁受入業務

横浜市から委託を受け、客船等の配船調整業務や大さん橋ふ頭など客船等が着く岸壁の運營業務を実施しました。

(4) 八景島マリーナ等の運営

ア 八景島マリーナの運営事業

八景島マリーナの運營業務を横浜市から受託し、安全かつ良好な状態で管理しました。また、大学ヨット部関連事業のほか、市民を対象にしたレンタルヨット及びヨットスクール事業、体験教室を実施しました。

(ア) 通年事業としてマリーナの管理運営を実施

毎日オープン (年末年始を除く)

業務内容：クラブハウスの運営、マリーナ海上業務、施設の点検・補修業務、各種連絡調整業務等

(イ) 大学ヨット部活動

大学数	出艇日数	出艇数
9 大学	139日	3,081艇

(ウ) レンタルヨット

区分	会員人数	利用回数
シーズンレンタル会員	9人	198回
レンタル会員	98人	12回

(エ) ヨットスクール

区分	開催日数	受講者数
技術習得コース	12日	延べ71人
ジュニア特別コース	6日	延べ25人
無料体験コース	3日	延べ44人

(オ) 体験教室

区分	開催日数	受講者数
クジラキャンプ	6日	延べ63人
指導者養成講習会	2日	延べ21人
神奈川大学ゼミ研修	2日	延べ28人

イ 指定管理業務の一部の実施

八景島指定管理業務の一部を受託し、指定管理者とともにイベントを開催補助及び島内の管理を実施しました。

(ア) 工事車両、イベント広場使用車両等の先導業務

(イ) ゆうなみ橋オイルフェンス（ブイ）監視業務

(ウ) 八景島島内巡回監視業務

(参考) 八景島来島者数：2,497,563人

ウ 八景島駐車場の運営事業

周辺の交通対策を行う中、八景島駐車場の管理運営を実施しました。

令和5年度は、新型コロナウイルスの影響がなくなり、様々な制限解除とともに八景島来島者も好調を維持し、各駐車場は平日・土日祝日を通して利用数が伸びました。

八景島B駐車場の工事制限区域の解除、八景島A駐車場の駐車料金土日値上げによる料金差と隣接ゴルフ場跡建設工事車両の平日利用が要因と考えられます。

区分	利用実績		前年対比
	令和4年度	令和5年度	
B駐車場	34,776台	56,430台	+21,954台
C駐車場	67,698台	67,856台	+158台
D駐車場	889台	759台	-130台
合計	103,363台	125,045台	+21,682台

### 13 令和5年度新規入会会員一覧

(店社名)	(口数)
株式会社マルゼン横浜支社	1口
グリフィン株式会社	1口
YDMS株式会社	1口